

<研究発表>

伝統と文化を探るテーマ学習

前橋市立第五中学校教諭 瀬戸 満

I はじめに

本地域は、前橋市市街地の南東に位置し、国史跡 天川二子山古墳をはじめ、古代の遺跡が多数発見されたことから、古くから栄えた土地柄である。現在は閑静な住宅地と商店街が開け、緑多く落ち着いた環境を維持している。

現在の生徒数は585名（1年191名、2年216名、3年179名）、学級数は18クラス（普通学級16、特別支援学級2）で、前橋では大規模校に属する。本校は53年に及ぶ歴史をもち、「礼儀正しく鍛え合う五中」を信条に、生徒は落ち着いて、学習や部活動に積極的に取り組んでいる。特色ある教育活動として、「開かれた学校づくり」「ボランティア活動の充実」「文武両道を目指す部活動」を掲げ、今年度は特に、ボランティア活動に力を入れ、地域の行事に積極的に参加したり、生徒会を中心に地域・学校美化に努めたりしている。

II テーマ設定の理由

改正教育基本法では「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」と規定され、「伝統や文化に関する教育の充実」が示された。これを受け、新学習指導要領で、道徳の時間を要として各教科、総合的な学習の時間及び特別活動など学校教育活動全体を通じて行うものであるとしている。本校では、この「伝統や文化に関する教育」の全体計画、指導計画等の作成はまだなされていないが、一つの試みとして、奈良・京都への修学旅行を取り上げようと考えた。また、修学旅行でより豊かな体験の学習活動がなされれば、実感の伴った伝統や文化の理解を深めることができると考えた。本校では、修学旅行の学習を総合的な学習の時間に組み込んで行ってきた。今年度は、修学旅行でテーマ学習を実施することにより、課題解決的な学習を行い、総合的な学習の時間との関連を深めることにした。

III 修学旅行までの取り組み

1 赤城林間学校（第1学年）

(1) 期 日 平成20年5月19日（月）～21日（水）

(2) 宿泊地 赤城少年自然の家

(3) 日 程

- ・1日目……登山（地藏岳） 入校式 カッター実習 キャンプファイヤー
- ・2日目……カッター実習 ウォークラリー 室内レクリエーション
- ・3日目……カッター実習 退校式

(4) 成果と課題

1年の段階で、赤城山での集団宿泊生活を通して、協同、友愛、規律、自主自律、奉仕等の精神、団結力を養う目的で行っている。修学旅行につながる成果としては、まずクラスや学年としてのまとまりが高まったこと、また集団行動の

意義や重要性を理解したことなどが挙げられる。特に、カッターや登山等の活動を通して、同じ目的を共有して頑張ることの楽しさや充実感を味わえたことが生徒にとっての収穫となった。



カッター実習



赤城山・地蔵岳への登山

2 東京遠足 (第2学年)

- (1) 期 日 平成 21 年 6 月 10 日
- (2) 場 所 東京 (山手線内およびその周辺)
- (3) テーマ 「テーマ別東京横断遠足」
文化 情報 歴史 スポーツ 政治 交通

	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
2組 4班		長谷川町子美術館	浅草寺		国立科学博物館		
4組 3班			浅草周辺	貨幣博物館	東京駅	科学技術博物館	
4組 4班			品川水族館		日本サッカーミュージアム	上野駅	国立科学博物館
1組 4班		江戸東京博物館		東京大空襲戦災資料センター		東京駅	

特色のある 行動計画例

(4) 成果と課題

東京遠足は修学旅行に直接つながる行事と位置づけ、課題解決的な学習活動を組んで行った。・課題設定の力 (見学場所の選定・目的・学習内容 等) ・問題解決能力 (調べ学習・計画立案・直接体験 等) ・表現力や発表力 (学習成果のまとめや発表 等) の流れで実施した。具体的には、計画の立案にあたっては、各班ごとに、文化、情報、歴史、スポーツ、政治、交通のテーマを提示し、その中からテーマを決めさせ、

テーマに基づく見学地を考えさせた。上記の行動計画例のように、特色のある計画を立てた班が見られた。

班行動の通して、生徒同士の理解と協力、自主性を育てることもねらいの一つとし、全体的にはねらいは達成できたが、班行動の決まりを守ることや公共のマナーに関して、反省・課題となった面も見られた。

東京遠足を通してわかったこと

テーマ：「東京の文化」

生徒A 東京遠足で課題を解決してくことで、東京から始まった文化、そして、過去と未来をつないでいく文化がわかった。東京から始まった文化はたくさんあり、その文化を未来まで守り続けるのが、私たちだと思う。そして、過去から始まった文化が、今でも存在する訳は、東京が大都会だから、そして現在たくさんの人々が文化を必死に守り続けているからだと思う。東京は昔から発達していき、今日も、そして未来までも発達していく。東京の進化は未来と一緒に進んでいくのがわかった。

生徒B TBS……このテレビ放送が始まってから現在までにテレビを観る人がどうやったら観てくれるか、どうやったら楽しんでくれるかということ工夫を工夫を重ねてきているんだということがわかった。また商号も何度も変わり、そのたびに新たな施設が作られ、当時から現在まで本当にみんなに観続けられているということがわかった。



東京都庁での集合の様子



江戸東京博物館での班行動

IV 修学旅行事前の取り組み

1 事前学習の計画

月	時間	主な学習内容
2年1月	総合2	ガイダンス (ねらい、計画、内容等)
		↓
2月	総合5	調べ学習 奈良 (個人学習)
		↓
		調べ学習 京都 (個人学習)
		↓
3月	総合2	テーマの設定・設定の理由 (個人学習)
		↓
	総合2	テーマに基づくコース作り
		↓
3年4月	総合2	オリエンテーション (計画、テーマ学習について) スローガン検討
		↓
	学活1	班決め・班テーマの設定
		↓
	学活1	クラス別行動の話し合い
		↓
5月	総合5	京都班別行動の計画づくり
		↓
	総合4	奈良班別行動の計画づくり
		↓
	総合2	班別行動見直し
		↓
	学活2	部屋割り・列車の座席決め・バスの座席決め
		↓
6月	総合4	しおりの作製・読み合わせ
		↓
	学活2	事前指導
		↓
23~25		修学旅行

※太字はテーマ学習との関連

2 テーマの設定

テーマの設定に関しては、以下の点に留意させ、テーマ例（下記）を参考にして、まず個人でテーマを設定させた。

- 奈良と京都の班別行動は、テーマを設定し、それに基づいた計画を立てる。
- 奈良と京都の班別行動に共通するテーマか、京都の班別行動のテーマを設定する。
- テーマは、各自の興味・関心に基づき、実際に現地に行き、見たり、体験したりすることにより、明らかに出来る課題を設定するようにする。
- テーマ設定（事前）→修学旅行（当日）→まとめ・新聞づくり等（事後）の流れの学習を行う。

テーマ例

項目	テーマ例
国語	平安時代の古典文学
社会	古代を訪ねて 平安時代 室町時代 桃山時代 京の名水をさがそう あこがれの道を歩こう 京都の名園（庭園）（枯山水、池泉回遊式庭園、浄土式庭園、鑑賞式） 伝統産業（*体験学習）
美術	寺社建築 仏像・彫刻
生活・文化	町並み 町屋 茶道 工芸・陶芸（*体験学習） 繊維・染織（*体験学習） 座禅・法話 伝統芸能 写経（*体験学習） 菓子（*体験学習）

生徒の立てた修学旅行テーマ(個人)

項目	社会科・歴史（国語・古典）
テーマ	平安時代・古典
課題	物語の情景を思いながら、そのすばらしさを味わおう。
設定の理由	

- ・平安時代に活躍した歴史上の有名人物が好きで、その人物ゆかりの地について調べたいと思ったから。
- ・平安時代の歴史や文化が好きだし、平安時代は「かな文字」など、日本の文化のもととなった時代だから。
- ・「源氏物語」「平家物語」など、古典が好きだから。

テーマに基づく見学地

- ・野宮神社（紫式部「源氏物語」）
- ・祇王寺（平清盛「平家物語」）
- ・平等院鳳凰堂（藤原頼通）
- ・晴明神社（安倍晴明）
- ・大徳寺（清少納言「枕草子」）
- ・伏見稲荷大社（清少納言「枕草子」）

3 テーマによる班決め

従来本校では、グループ決めを男女別に好きな者同士で3人組を作らせ、男女の組み合わせはくじで行い、6人組を作るというのが慣例であった。

それを今回は、まず個人のテーマを決めさせ、同一テーマを持つ者同士の班を作ることにした。各クラスの担任が、個人テーマから組み合わせを考え、グルーピングを行った。同一班が全員同じテーマにするには難しい班もでてくるので、そういった場合は、テーマのカテゴリーが同じ者を加えるようにした。

従来は、班を作ってから、班のテーマを決めさせていたため、そのテーマが班員全員の共通のものとはならないことが生じていたが、今回テーマによって班決めをしたので、班のテーマを共有しやすくなった。また、班決めは、生徒の人間関係が強く影響するので、混乱が予想されたが、担任主導のメンバー決めは、微妙な人間関係も考慮しながら行ったので、混乱は生じなかった。

4 班テーマの設定

テーマによる班ができたところで、各班でテーマについての話し合いをもたせ、決定させた。（資料1参照）内訳は、

- ・時代（平安・桃山・江戸等） 4
- ・庭園 4
- ・寺社建築・彫刻 11
- ・絵画・陶芸 1
- ・食文化・菓子 4
- ・伝統工芸 2
- ・町並み 1
- ・京都と群馬の文化比較 2 であった。

資料1 修学旅行班別テーマ一覧

組	班	テーマ	課題
1組	1	寺社建築・仏像彫刻	寺社・仏像を見て、自分の感想をもち、すばらしさを味わう。
	2	絵画・陶芸	実物を実際に見て、自分の感想をもち、すばらしさを味わいながら学ぶ。
	3	庭園	様々な種類の庭園を觀賞し、年代ごとの特徴をつかみ、また日本古来の芸術のすばらしさを味わう。
	4	建築・庭園	寺社の建築、庭園を見て、その時代によってどのような違いがあるか調べる。
	5	平安・桃山・江戸の歴史	歴史や古典にでてきたものや人物などに関わった寺を見てそのすばらしさを味わう。
	6	平安・安土桃山時代	平安・安土桃山時代の建物や文化を見て、そのすばらしさを味わおう。
2組	1	古代を訪ねて	歴史のすばらしさを感じ、その偉大さを味わう。
	2	庭園	庭園を巡って歴史を知ろう。
	3	見よ！作ろう！京都の文化	群馬と京都の文化の違いを感じる。
	4	お菓子	お菓子から京都・奈良の文化を知ろう。
	5	建築・仏像	建築物、仏像のすばらしさを味わう。
	6	仏像・和菓子	仏像を見たり和菓子を作ったりして京都・奈良を知る。
3組	1	菓子	京都の伝統的な京菓子を実際に作ってみて、京都のすばらしさを知る。
	2	伝統工芸品	京都の伝統工芸品を体験し、その文化に触れる。
	3	仏像・寺社建築・彫刻	古くからの仏像、彫刻を実際に見て、その時代の日本文化のすばらしさを深く理解したい。
	4	世界遺産	なぜ、世界遺産に選ばれたのか。
	5	寺社巡り	古都の人々が感じた美しさを味わう。
	6	町並みと寺社巡り	奈良・京都の町並みを見て昔の文化や生活にふれてみる。
4組	1	仏像・彫刻・寺社建築	多くの仏像や寺社建築を見て、その歴史を学ぶ。
	2	寺社建築・仏像・彫刻	京都・奈良の独特な仏像・寺社を見学し、その特徴を知る。
	3	京都の名園	色々な名園を巡り、一つ一つの特徴を見つける。
	4	昔の建築と昔の人の生活	伝統的建築物や工芸品などを調べてくる。
	5	京都の名園	昔の庭園の模様について調べる。
	6	菓子・伝統産業	菓子を実際に作り、京都の食文化を味わう。
5組	1	庭園と寺の調和	庭園と寺を実際に見て、建物のバランスや庭園を比較し美を味わう。
	2	京都と群馬の文化比較	歩いた道などをオリジナルのパンフレットなどにまとめる。
	3	食文化と伝統文化	京都奈良の名物の作り方をまとめ、伝統文化の他県との違いをまとめる。
	4	仏像・彫刻	古都にある仏像を比較し、その時代背景や特徴の違いを調
	5	建物と仏像	建物や仏像の特徴を知ろう。
	6	桃山時代の文化の特徴	桃山時代のお寺をまわり、桃山時代の特徴を明らかにする。

5 班別行動計画と見学地調べ

奈良・京都の班別行動を検討させるにあたり、班のテーマに関わる見学地を2, 3箇所組み込むようにさせた。特色ある行動計画は以下の通りである。

行動計画が決定してから、見学地調べを進めた。「関西の旅」、「るるぶ」、図書室の本、インターネット等を使って自分たちの見学先について調べてまとめさせた。社会科では授業の中でより詳しいテーマに沿った調べ学習を行った。

京都班別行動計画	※太字はテーマに関する見学地
1組 6班	三十三間堂…清水寺…八坂神社…錦市場… 本能寺 … 晴明神社 …二条城
3組 1班	三十三間堂… 八つ橋と刺繍館 …二条城…清水寺
3組 2班	南禅寺…清水寺… 京扇堂 …京都タワー
4組 4班	金閣寺…北野天満宮…清水寺…京都駅… あかね屋
4組 6班	三十三間堂…清水寺… 井筒八ッ橋本舗 …京都駅
5組 2班	三十三間堂… 祇園 …銀閣寺・ 哲学の道 …金閣寺… 二条城 ・ 近くの町並み
5組 3班	二条城… 西陣織会館 …清水寺…三十三間堂…京都駅



社会科での調べ学習の様子



実行委員会による集会

V 修学旅行での取り組み

1 期 日 平成22年6月23日(水)～6月25日(金)

2 宿泊地 旅館銀閣(2泊) 京都市下京区烏丸通七条東入下ル

3 行程

	6月23日(水)		6月24日(木)		6月25日(金)
5:05	前橋駅(出発式)	6:00	起床	6:00	起床
	高崎駅(新幹線)	7:00	朝食	7:00	朝食
		8:30	班別行動開始	8:00	宿泊宿発
10:08	京都駅				クラス別行動
11:30	奈良公園、法隆寺、 平城京跡の3方面へ バスで		京都班別行動	12:00	昼食
	奈良班別行動			13:59	京都駅
18:00	宿泊宿着(銀閣)	17:00	宿泊宿着(銀閣)	16:20	東京駅
19:00	夕食	17:30	夕食	18:03	高崎駅
		18:30	体験学習出発	18:33	前橋駅(解散式)
			河村能舞台		
20:00	消灯	22:30	消灯	18:55	解散

4 1日目(奈良・班別行動)

奈良の班別行動は、京都到着後、法隆寺方面11班、平城京跡方面13班、奈良公園方面6班に分かれてバスで移動した。その後は、班の計画通りに行動した。今年は、「平城遷都1300年祭」ということで、平城京跡会場に行った班は19班/30班中にもものぼった。テーマ別学習に関しては、奈良では、「寺社建築・彫刻」「庭園」などをテーマとした班が、計画に沿った学習を行った。



法隆寺



東大寺仁王像



遣唐使船の前で 平城京跡会場



第一次大極殿の前で 平城京跡会場

5 2日目（京都・班別行動）

8時15分から17時まで、京都で一日班別行動を行った。移動は主にバス、電車で、タクシーは使わせていない。京都の班別行動では、テーマに関する見学地を入れており、体験学習を組み込んだ班も多かった。ほとんどの班が計画通り、行動し、集合時間には全班遅れずに戻ってきた。



京都班別行動開始



八ッ橋作り 井筒八ッ橋本舗



清水焼絵付け あかね屋



西陣織体験 西陣織会館

2日目の夜は、全体の体験学習として、能楽講座（河村能舞台）に出かけた。本校では、4年前から、体験学習として、この能楽講座を取り入れている。能についての説明、「高砂」を全員で歌う練習、楽器の紹介、代表者による歩き方、最後に実際の能を見学した。日本の伝統芸能に触れる貴重な体験となった。



能の体験 河村能舞台



6 3日目（京都・クラス別行動）

3日目はクラス別行動で、以下の見学地をバスで移動した。

- 1組.....宇治平等院、伏見稲荷
- 2組・5組.....八つ橋作り体験、清水寺
- 3組.....金閣、北野天満宮、竜安寺
- 4組.....保津川下り、嵐山散策



1組 平等院



1組 伏見稲荷



2・5組 ハッ橋作り体験



2・5組 清水寺



3組 北野天満宮



4組 保津川下り

修学旅行事後の取り組み

1 教科での取り組み

(1) 国語(短歌・新聞)

国語の授業を使い、修学旅行の思い出を短歌で表現させた。また、書くことの指導で「新聞作り」をさせた。

(2) 英語(英作文)

英語の授業では、修学旅行の中から一つのテーマを取り上げ、英作文を行った。

2 新聞作り

国語の授業で「新聞作り」の書き方の指導を行い、総合の時間も使い、新聞作りに当てた。テーマ、テーマ設定の理由、事前学習の内容、実際の見学・体験の内容、感じたこと・考えたことを内容にし、その他として短歌や英作文を載せてもよいこととした。

梅雨の中かがやきはなつ奈良京都歩いてみれば古き街並み

清水の舞台に出でし美しき月に我が身の思いをよせて

京都奈良歴史を学ぶ古都の旅梅雨とは思えぬ青空の下で

清水の舞台からのてく近代のタワーそびえる古都京都

東福寺緑生い茂る庭園の秋の紅葉も美しきかも

汗ぬぐい日差しの日曇りも気にならずみんなで歩いた仁和寺の庭

あかね屋で清水焼を体験し学んできたよ古都の文化

市川から何気なく見る京都町 体で感じる音の香り

My School Trip

Class - No. ■ Name ■

We went to Kyoto on a school trip in June.

The purpose of the trip was to learn about Kyoto's culture and history. There were a lot of people in Kyoto.

I experienced Noh. The noh was done from the Muromachi era till the kamakura era.

It has a history of about 600 years. It is difficult to learn the noh. When I experienced noh, I was very nervous.

I had a good time. We must hand down this good culture to many people. I learned a lot from this trip.

I want to visit Kyoto again.



英語で作った英作文

Class: 3-1 No. [redacted] Name: [redacted]

My School Trip

We went to Kyoto on a school trip in June.

My favorite building was Byodoin.

It was built by Fujiwara Yorimichi in 1052.

It was wonderful!

Byodoin has two phoenixes. They are on the roof.

They were made by the imagination of people.

They were bigger than I had expected.

I went there to learn about Heian era.

I couldn't see the inside of the Phoenix Hall.

But the Japanese garden was very beautiful in Byodoin.

I want to visit Kyoto again.

And I want to study Japanese history hard.

I like Kyoto!



英語で作った英作文

3 発表会

個人で作成した「新聞」をもとに、修学旅行のグループで発表会を開いた。内容は、テーマ、テーマ設定の理由、事前学習で取り組んだこと、見学・体験内容、まとめの項目とした。発表方法はPCによるプレゼンテーションまたは模造紙発表とした。7つの会場に分け、各クラスの班を振り分けて行った。発表資料を作ることで、修学旅行のまとめにすると同時に、他のグループの発表を聞かせることにより、京都と奈良の伝統・文化について知識を広げることをねらいとした。



発表会の様子

成果と課題

「伝統と文化を探る」ために、テーマ学習を取り入れ、個人学習、グループ学習と学習を進めて修学旅行を実施した。これまでの本校での修学旅行と比べると、奈良・京都のもつ伝統や文化に目的をもって触れることができ、生徒個々の知識や考えが深められたと思う。

テーマ学習は、2年の「東京遠足」の時から行い、3年の「修学旅行」へとつなげたことにより、一貫性が生まれ、生徒の抵抗感もほとんどなく、スムーズに学習活動を行えた。

テーマ学習を事前、当日、事後の学習に分け、計画的に課題解決的な学習を行ってきた。そのため総合的な学習の時間との関連を深めることができたと考える。また、社会、国語、英語等の教科との関連も図ったが、計画の段階でしっかりと位置づけする必要もある。

個人のテーマを班のテーマに生かすため、班決めは、好きな者同士の班ではなく、同種のテーマをもつ者同士を教師主導で決めたことにより、各個人のもった問題意識を継続させることができた。

課題として、各班でテーマを決めさせる段階で、もう少し課題を明確にさせる必要があったと思う。当日、事後の活動で班によっては学習の深まりがもう一步だったところが見られた。また教師側も共通理解ときめ細かな指導が必要である。

本校では、今後も修学旅行はテーマ学習を行い、総合的な学習の時間、さらには各教科の時間に計画を位置づけ、課題解決的な学習を行い、実り多い修学旅行にしていきたいと考えている。